



# シルバー酒田

〈発行〉

公益社団法人  
酒田市シルバー  
人材センター  
酒田市相生町2-3-80  
TEL (0234) 22-3344  
FAX (0234) 22-3434



押し絵（羽子板）



見事なくるみ皮「手提げ籠」



見事なつる細工「手提げ籠」



暫し、見惚れて

## シルバーフェア

上本町 渡邊 直子

四年ぶりのシルバーフェアが十月十四日と十五日、当センターと浜町二丁目自治会館にて開催されました。

期間中は、つや姫ハーフラソン大会や日和山公園クラフトフェアなど、市内ではいろいろなイベントが開催されていますので、お客様があまり来てくれないのではないかと心配していましたが、まずまずの来場者でした。

作品展は、日頃の皆さんの趣味や技を拜見できる楽しい企画です。

今回は四年ぶりの開催となったため、展示規模を縮小して行われましたが、それぞれの作品はなかなかの力作ぞろいで来場者の皆さんには楽しんで頂けたのではないでしょうか。

来年はまた盆栽や学童、福祉施設の作品も展示して賑やかに開催できたらいいですね。なにより、マスクのいらないコロナ以前の生活が戻って来て、イベントや旅行など楽しいことがたくさんできる日常を願っています。

# 創業四十周年記念 シルババーフェア特別講演

本年六月に発行した記念誌「年輪」でもお知らせのとおり、昭和五十八年（一九八三）に設立した当センターは、今年で四十周年を迎えることができました。

新型コロナウイルス禍で中止していたシルババーフェアの四年ぶりの開催に合わせ、従来の創作展に加え、二つの特別講演なども開催いたしました。

ここに特別講演の要約等を掲載し、ご紹介申し上げます。

## ①「発達障がい」の基礎知識について

特別講演第一部は、NPO法人教育力アップ山形の矢野一平先生（写真中央）をお招きして、「発達障がい」の基礎知識についてお話しを伺いました。当日は朝十時からの講演に十六名が参加されました。



「お話しする内容が全てではありません」と、前置きをされた上で、とても分かりやすく説明してくださいました。

●発達障がい（神経発達症）  
その子どもの行動には必ず理由があつて、何でそうなるのか自分でもわからない、気付かないということ、大切なのは、一人ひとりに合った対応をする必要があるのです。

●ADHD注意欠如多動症とは、不注意・常に動く・衝動性が強いのが特徴  
興味が次々に切り替わるので、一回で一つのことをゆっくり話したり、紙に図を描いて理解させることが大切です。また、ぴよんぴよん飛んで自分を落ち着かせようとする動作のときは、脳からノルアドレナリン・ドーパミン・セロトニンが分泌されると落ち着くのでそんな行動をとる。いつでも身体を自由に動かすことができるように見守って欲しい。

●ASD自閉スペクトラム症とは、こだわりが強い・相手の気持ちが変わらない・一部の感覚が過敏になるというのが特徴  
・基本的に不安なので、ぬいぐるみ、おもちゃなど自分のお気に入りの物を持ってしていると落ち着く。

・いつもの匂い、触り心地、周りが

同じだと落ち着く。

・順番に並んでいないと気になる。

・これらのことを変えるときは、話し合つて少しずつ変えた方がよい。

・ASDの子どもと信頼関係を築くには約六か月かかり、怒らないで優しく微笑んで話しかけ、ほめたり、背中を撫でたり、スキンシップも大切です。

ほとんどの発達障がいは生まれつきで、赤ちゃんのとき、手を振るしぐさや這い這いのしかたが速すぎるなどでわかります。

以上、発達障がいの基礎知識を具体的に学ぶことができました。ありがとうございました。（渡邊）

## ②「人生一〇〇年時代」支え上手、支えられ上手に暮らしてみよう

第二部は、東北公益文科 大学准教授の白畑真由美先生（写真中央）をお招きして約一時間講演をしていただきました。

先生は酒田



市役所に三十七年間勤められ、長く福祉の仕事に就かれました。縁あつて今年の四月より公益大の准教授に就任され教鞭をとっています。第二部も十六名の参加があり、庄内弁を交えた優しい語り口で講演が始まりました。

まず、初めに二人一組になり、お互いの共通点を探すことから「好きな食べ物」「好きな景色」など、参加者も終始和やかな雰囲気。「笑顔の秘訣は口角を上げてこやかに笑うと、人から話しかけてもらえるようになる。」とのことでした。

次に、支える側の立場から、利用者からの言葉かけでどのような言葉だと嬉しいか？「ありがとう」「よかった」など多数あげられ、逆に嫌な言葉や態度はとの質問には「不機嫌な顔」や「やつてもらつて当たり前」などの意見が出ました。仕事や社会生活においては、良好なコミュニケーションが基本です。お客様と接する私達も気持ちよいコミュニケーション力（力）を身につけたい。

これから先、年を取り、今までの上に誰かの手を借り、支えられる場面が多くなります。人間関係が希薄になってしまった昨今、シルバセンターの基本理念である「自主・

自立・共働・共助」がより一層大切になります。

白畑先生がおっしゃった「過去は変えられないが、未来は変えられる」を胸に、日々の挨拶など小さなことから感謝の気持ちを忘れず、会員の皆さまと共に歩んでいきたいと思えます。  
(高橋、佐藤)

### シルバ－フェア

#### 「健康測定」

十月十五日午前中には、健生の看護師さん達による血圧、体脂肪率、体脂肪量、BMI（肥満度）血中酸素濃度、握力の測定が行われ大変人気でした。

測定数値結果により、個々の日常生活での注意点を丁寧にアドバイスしていただきました。

#### 参加者の感想は

- 血圧以外の数値を知る事ができた。
- 自分の健康度を数値で知る事ができて良かった。
- 血中酸素濃度を初めて知った。
- 日頃何となく悩んでいた事への対処方法を教えていただいた。
- 我々は外で働いているので、毎月この様な測定を希望する。

#### まとめ

健康維持には筋肉を付けることが大切。それには歩く事がベスト。日頃から階段を使う。駐車場ではなるべく遠い場所に駐車する等の少しの努力を続けること。  
(三丁目)

#### 他に実施した催し物とご協力機関名等

- ◎キャリアカウンセリング  
(キャリアコンサルタント 大瀧 均氏)
- ◎入会説明会・個別相談会  
(センター事務局)
- ◎障子張替デモンストレーション  
(センター障子襖班)



障子張替デモンストレーション



大変人気だった健康測定

## 理事会報告

### 令和5年度 第2回理事会 (令和5年10月4日開催)

#### 協議事項

第7号議案 事務規程の一部改正について

原案どおり可決承認されました

第8号議案 個人情報の保護に関する規程の一部改正について

原案どおり可決承認されました

#### 報告事項

・新入会員について

新入会員32名の報告がされました

・令和5年4月～令和5年8月の事業実績と事業進捗状況について

#### について

令和5年4月～令和5年8月の事業実績と事業進捗状況が報告されました

- ・定款22条に基づく、理事長・副理事長の職務執行状況の報告について
- ・職員の採用計画及び事務局体制について
- ・日中一時支援事業について
- ・事故報告について
- ・各委員会の報告について
- ・松の栽培の現状について (黒森ほ場の見学)
- ・その他

# 創業40周年記念 シルバ－フェア会員創作展

新型コロナウイルスにより中断していたシルバ－フェアを、4年ぶりに10月14日と15日に開催いたしました。久方ぶりの開催となり、作品の応募が見込みづらいため、創作展は規模を縮小し浜町二丁目自治会館を会場といたしました。

しかし、会員皆様のご協力により想定を上回る出展があり、賑やかな創作展となりました。ここに作品の一部を掲載いたしますので、どうぞお楽しみください。

また、2頁と3頁に掲載いたしましたのは、創業40周年記念に合わせて開催した特別講演等です。

## <お詫び>

新型コロナウイルスの発生状況を見極めるため、シルバ－フェア開催決定が8月にずれこんだことから、周知が10/1号の酒田市広報及び9/29号のコミュニティ新聞と大変遅くなり、会員皆様には十分にお伝えしきれませんでした。深くお詫び申し上げますとともに、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。



折り紙「まばゆい花々」



からむし「曼陀羅」



PPテープ「魚」



PPテープ「白鳥の群舞」



みなさん、  
すごいなー



凜々しく流れるように



THE 篆刻!



油彩



県美展で入選したF50号洋画



(油彩のような) ちぎり絵



細やかなつまみ細工



刺し子、リフォームほか多彩な技の数々

# 日常茶番事

日頃、胸中に秘めていたバカ話、無駄話をするコーナー。第6回目は「子ども時代の遊び」と題してお届けします。今もなお、青春真っ只中の皆さんの純真な小学生から少しませた中学生ころまでの遊びが満載です。どうぞ、お楽しみください。

なお、第7回目は「私の好きなTV番組」と題して募集いたします。遠い昔の思い出、この際ですから皆さんにご披露しませんか。特に締め切りを設けません。封筒の表に「会報原稿」と記入して、事務所または各支所ポストに投入して下さい。もちろん、匿名で結構です。

## 山は私の友達

山の中で育った私は自然児そのもの。小学生の頃から、春は山菜採りが大好きだった。友達と棚田でかくれんぼをしたことが楽しかった。夏は兄と一緒に川でカジカ捕り、ガラス箱とやす(漁具)をもって水中の魚を刺して捕った。魚は夕飯のごちそうだった。沼で釣りをするとイモリが釣れて素手で取り外すのが嫌だったのを覚えている。秋はキノコ採り。冬は放課後になると先生と一緒に小高い山の上までスキーを肩にかついで登り、夕暮れ時、山道を滑っておりてきた。もちろんスキーは長靴スキー。

山の学校(分校)での冬の行事の一つは体育館の中で村の人達が捕まえたウサギの肉汁を食べることだった。なんとも懐かしい思い出である。  
－田舎のハイジ－

## 喜怒哀楽の長い坂道

我が家は、坂道道路の上の方にあります。この坂は長くて、下りは歩くのが楽なのですが、上りは大変きつい道路でした。子供の頃、雪道になると雪ざりで、うちの前から、何百メートルも滑って遊んでいました。この当時は車の通る量も、今みたいに多くはなかったのですが、今考えるとかなり危険な遊びでした。

我が家は、裁判所から少し下って、「子別れ坂」とも言い「花街」に売られる娘と親の別れ坂でした。この坂をずっと下って行くと、大浜の方に行き、その当時多くの従業員がいた「鉄興社」があり、朝晩は人の流れが多い道路でした。夏場は三輪車で遊んでいました。  
－いっちゃん－

## ガキ大将になりたかった俺

‘まんちゃん ころちゃん あろそいほりいつでも、同じ仲間ていろんな遊びをしていた子供の頃が懐かしい。ベッチ(めんこ)やビー玉遊びとチャンバラごっこ、すべて外遊びだった。今みたいにゲームやボール遊びなんてなかった。しかし、昔の遊びを思い出してみても、あの頃は夢中になって遊んだ。俺はいつでも‘まんちゃん。には、なにをやってもかなわなかった。身体が大きく、頭が良く強かった。一度でいいから勝ちたいと思って、対抗意識をむき出しにしてむかっていったが、かなわなかった。

小学校4年生の時に、クラス替えになってから一度も会っていない。それが、今になって思い出してみても、とても懐かしくて、思わず笑ってしまう。  
－ころちゃん－

## 禁止された遊び

中学1年生の時、担任の女先生が怖い顔をして教室に入ってきました。

「皆さん、休憩時間のあの遊びは禁止します!!」

あの遊び??? 後から考えると当然も当然。

あの遊びとは…

男女10人位が2チームに分かれて、馬跳びをするのですが、体操の時間にするあの馬跳びではなく、前の子の脚につかまり、頭を脚の間に入れて長～い馬を作るのです。

別のチームは助走してなるべく遠くまで跳んで、全員が乗ることに成功すれば勝ちだった様な。

誰が考え出したのか、結構楽しんでたのですが～。女子はみんなスカートを着ていた時代の事件でした。  
－おくてだった元女の子－

## 職務分担表 (令和5年9月1日)

職 群	担 当	
	リーダー	補 佐
庭木剪定	五十嵐	岡部
機械刈除草	光ヶ丘	小松原 佐藤(祥)
	光ヶ丘以外	増岡 五十嵐・佐藤(祥)
手取り除草	市道・アジサイ園	岡部 佐藤(祥)・本間
	一般家庭・寺	小松原 佐藤(祥)
消毒	増岡	佐藤(祥)
農作業	一般家庭	佐藤(祥) 五十嵐
	田中生花	佐藤(祥) 本間
派遣	高橋	五十嵐・佐藤(祥)
福祉家事	澁谷	その都度
軽度生活援助・除雪	五十嵐	増岡
施設管理	本間・岡部	その都度
駐車場整理	澁谷	その都度
障子・襖	佐藤(鏗)	その都度
筆耕	佐藤(鏗)	その都度
大工仕事	増岡	その都度
公園緑地等維持管理	堀	佐藤・高橋・本間
北部公園ほか清掃等	本間	堀
市のトイレ関係等	本間	澁谷
一般作業・その他(会場設営等)	五十嵐	澁谷
総合支所管内作業日報回収	岡部	その都度

## 事務局紹介 (令和5年9月1日)

職 名	氏 名	担当業務
事務局長	高橋 純	総括：労働者派遣
業務統括専門員	本間 博	総務全般：業務全般
業務係長	五十嵐千恵	業務全般：安全就業推進委員
主 事	佐藤 祥崇	業務全般：庶務
嘱託職員	鈴木 恵美	総務全般：経理全般
嘱託職員	澁谷三重子	業務全般
嘱託職員	石井 清彦	経理事務：庶務
嘱託職員	堀 宏樹	公園緑地管理専門員
臨時職員	岡部 修	業務全般
臨時職員	小松原 茂	業務全般
非常勤職員	佐藤 鏗爾	業務全般
非常勤職員	瀬野千恵子	業務全般
非常勤職員	伊藤 宏子	業務全般
非常勤職員	増岡 貴	業務全般

どうぞよろしくお願ひいたします

# 随感

## スペシャルな軍団 ザ・アジサイ班!!

高見台

阿部 澄雄



今年の夏は、暑くて仕事をするのもイヤになるほどでした。

しかし、我がアジサイ班は、楽しかった。長老の博識ある話などで、暑さを忘れるくらい盛り上がりました。

当班は、よく見ると職人集団です。ビルの特塗塗装、植木、大工、自動車教習所の先生、地元の農家、最近宮大工も加わり、みんなでワイワイ



## 紙芝居をつくります

小泉

瀬野千恵子

ボランティアで読み聞かせをしています。

平成十三年に立ち上げた「八幡よみきかせ隊」。早いもので二十数年がたちました。以前は依頼があればどこへでも出かけていましたが、最近は八幡地域の保育園と小学校を中心に、七、八名の会員が毎月定期的に読み聞かせを続けています。

読む本は季節や学年などを考慮し

い、専門用語もたまに出たり。

「それどういう意味？」

女性たちも、経験豊富で農家出身も多数います。女性陣は、まさにプロ集団であります。

仕事内容はもちろんですが、「鎌はこういうのがいいよ」とか、「少し曲げた方が良く切れるし、手がつかれない」とか、の熟練技の披露もあり、ヤスリで鎌を研いだり、助け合っています。

「あつ、そうだ。」俺も皆と同じ、職人（寿司）でした。

草の手刈り班、これからもがんばります。

ながら選んでいます。紙芝居も人気があるのでよく取り入れています。特に自分達で作った地域のことを題材にした庄内弁の手作り紙芝居（全部で十七作品あります）は、子どもだけでなく大人にも喜ばれるので重宝しています。

シルバ－で行っているサロンでも紙芝居をしていますので、気になった方はぜひ次回のサロンにご参加ください。

申し遅れましたが、私はシルバ－人材センターで事務補助をしています。どうぞよろしくお願ひします。

令和5年度 安全就業に関する 標語入選作品	最優秀	シルバ－は 地域の信頼 無事故から	(東根市SC 堀江 富治)
	優秀	安全は シルバ－仲間の 合言葉	(新庄・最上地域SC 阿部 修一)
	優秀	「事故ゼロ」は 一人ひとりの 心がけ	(山形市SC 齋藤 知行)

## 令和5年度事故報告 (令和5年10月3日現在)

### 労災事故

発生日時	発生状況	原因と対策
7月7日 65歳女性	学童保育所で座って宿題の指導中、2年生の男児がいきなり背中に乗ってきて離れず、腰部を挫傷した。	・楽しい気持ちを抑えられない子供の子供の性格を理解し、より丁寧に指導する必要があった。

### 傷害事故

発生日時	発生状況	原因と対策
8月22日 71歳男性	軽トラックで庭木等の回収作業中、荷台から降りる際に右足首をひねり、痛みが引かないため整形外科を受診したら靭帯が切れていた。	・危険と感じない程度の高さでも、筋力、バランス感覚、視力などの低下により、ケガをしやすくなっていることを意識し、絶対に飛び降りないようにする。
9月4日 77歳女性	公園内清掃作業前、動噴に混合油を入れる際、タンクからはねた混合油が目に入った。	・油が飛びはねることを想定できなかった。 ・防護メガネかバイザーで保護して作業する。

### 損害事故

発生日時	発生状況	原因と対策
5月2日 73歳男性	京田4丁目公園内で手押し式草刈り機（ハンマーナイフモア）で草刈り中、汚水確認柵の蓋部分を見落としてしまい、回転刃が接触して蓋部分を破損し蓋を交換したが、6月末に配管に詰まりがあり調べたら破損した蓋で管が詰まっていた。	・草刈り機械を使用する際の確認が不十分だった。 ・トイレ周辺を除草する際は手押し式草刈り機を使用せず、肩掛けの草刈り機を使用することをすべての公園で徹底する。
7月10日 81歳男性	空き家の草刈り作業時に、水道の元栓を開け外水道を使用後、元栓を閉め忘れ、凍結防止のために開けていた室内の蛇口から10日間ほど水が出っぱなしになっていた。	・外水道は閉めたため、屋内の水道が出ていることを想定できなかった。 ・元栓を開けたら閉める。
7月12日 73歳・69歳男性	張替えした襖をお客様宅に搬入時、階段登り口に設置の室内用手摺遮断機式支柱の受け側を破損した。	・手摺の外し方がわからず、家人と一緒に外したが、部品が取れて戻せなくなった。 ・扱いのわからないものは無理をせず、家人にまかせる。
8月3日 65歳男性	公園内の草刈り作業中、飛石により駐車中のトラックの助手席側ガラスを破損した。	・周囲の状況を確認し、人、車、建物等がある場合は必ず養生する。



サロン バラ折り紙

# 写真で見る 2023+α みんながんばった!!



7月出張障子張替



世代間地域交流



フェア からむしの帯



寺文化祭参加



フェア 刺し子



7月秋田水害にタオル寄付

## 西荒瀬小学校の鮭体験学習

一九七九年度から地元の日向川鮭漁業生産組合（大場清悦組合長）の協力で、毎年実施している酒田市西荒瀬小学校の体験学習が、今年も十月二十五日に行われるという情報を得て、早速取材にかけました。六年生十九名が先生に付き添われてやって来ました。



組合長の説明で「鮭は川で生まれ、海を回遊し、母川に戻ってくる習性を持った魚です」。課外授業が始まり一人ひとりが遡上してきた鮭（六十〜八十センチ）を大きいタモで苦勞しながらすくい上げ、こん棒で頭

の部分を押いて気絶させ、ふ化場に運び採卵、人工授精させました。受精卵は、西荒瀬小校内の水槽に移し、毎日、水温や気温などを計測するとともに、餌をあげたり、死卵を取り除くなどの世話を二月末まで続け、体長が六〜七センチになる三月初めころ、四年後大きく成長した姿になって戻って来ることを願い、日向川に放流します。（小林）

## 編集後記

最近「人手不足」が社会問題になっています。九月末、私は酒田市交流広場で行われた国際交流祭りに参加しました。そこでミャンマーから今年の春、酒田に来たという青年に出会い、いろいろお話を聞いてみました。

酒田にある介護施設で数名の同じ国の仲間と働いているとのこと。働いたお金を家族に送っていて自分の希望として五年間は頑張ってお働き

いそうです。これからますます地方にも働きにくる外国の人が増えてくるのでしよう。そして将来は私達もその人達にお世話になるのかもしれない。

当日は色々な国から来た人達が参加してにぎやかでした。最後にみんな「酒田甚句」を輪になって踊りました。ミャンマーの青年も！

今年の皆様のおかげで創業40周年記念誌を発行できましたことを感謝申し上げます。（渡邊）